第 3 章

施策の方向と5年間に実施する 重点的な取組

施策体系 施策の基本的な方向と5年間に実施する重点的な取組

プロジェクトI

過去と未来をつなぎ世界にはばたく人材を育てる ~夢・チャレンジプロジェクト~

施策(3)

- 志を持って、失敗を恐れずチャレンジ する人材を育てる
- 歴史と伝統文化に親しみ、郷土と国を愛する心を育てる
- 異文化を理解し、国際的コミュニケー ション力のある真の国際人を育てる

重点的な取組(10)

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 夢をはぐくむ教育の推進
- (3) 子どもや若者の社会参加の促進
- (4) 環境を守るために行動できるひとづくりの推進
- (1) 郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進
- (2) 文化に触れ、親しむ環境づくり
- (3) 文化財の保存・継承
- (1) 多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成
- (2) 外国語教育の充実
- (3) 外国人児童生徒等の受入れ体制の整備

プロジェクトII

ちばのポテンシャル (潜在能力) を生かした教育立県の土台づくり ~元気プロジェクト~

施策(8)

- 1 読書県「ちば」を推進する
- 多様な自然、産業、人材などを生かした体験活動を推進する
- 教育現場を重視し、教職員の質と教育力の高さでトップを目指す
- 道徳性を高める実践的人間教育を 推進する

重点的な取組(29)

- (1) 家庭や地域における子どもの読書活動の支援
- (2) 学校等における読書活動の推進
- (3) 図書館における読書活動の充実
- (1) 体験活動を通した心の教育の推進
- (2) ちばのフィールドを活用した体験活動等の推進
- (3) 実践、実習、現場体験に重点をおいたキャリア教育の推進
- (1) 熱意あふれる人間性豊かな教員の採用
- (2) 信頼される質の高い教員の育成
- (3) 少人数教育の推進
- (4) 教職員の負担軽減と学校問題解決のための支援
- (1) 道徳性、規範意識・社会貢献態度の育成
- (2) 自他ともに尊重し命を大切にする心の教育の推進
- (3) 豊かな人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成

- フェアプレーの精神を育てるスポーツ、健康・体力づくりと食育を推進する
- (1) 体力向上を主体的に目指す子どもの育成
- (2) ちばの自然や恵みを生かした食育の推進
- (3)「みるスポーツ」・「するスポーツ」の推進
- (4) 人々に夢と感動を与える競技力の向上
- 一人一人の特性に目を向けた特別支援 教育を推進する
- (1) 特別支援学校の児童生徒数増加への対応
- (2) キャリア教育と後期中等教育の充実
- (3) 適切な教育的支援に向けての支援体制の充実
- (4) 特別支援教育に関する教員の専門性の向上
- (5) 地域の幼児児童生徒とともに学ぶ機会の充実
- (6) 医療的ケアの実施体制の充実
- フ 豊かな学びを支える学校づくり
- (1) 魅力ある高等学校づくり
- (2) 私立学校の振興
- (3) 地域に開かれた県立学校の促進
- 8 安全・安心な教育環境の整備
- (1) 校舎等の耐震化・リニューアル、バリアフリーの促進
- (2) 自助・共助の防災意識を高める防災教育と安全教育の推進
- (3) 子どもの健康を守る学校保健の充実

プロジェクトIII

教育の原点としての家庭の教育力を高め、人づくりのために力をつなげる~チームスピリットプロジェクト~

施策(3)

「親学」の導入など、家庭教育を 支援する

重点的な取組(14)

- (1) 家庭教育への支援
- (2) 幼児教育の充実
- (3) 学校・地域における家庭教育の普及
- (4) 思春期の児童生徒や家庭への支援
- (5) 親となってかけがえのない子育てを行うための教育の推進
- 学校教育と社会教育、国公立教育と 私学教育、産・学・官、公と民などの ネットワークを構築する
- (1) 地域の力を結集した地域教育力の向上
- (2) 産・学・官の連携強化による子どもの自立への支援
- (3) 社会教育機能の連携強化など、生涯学習社会を目指した 取組の支援
- (4) 高等教育機関との連携
- (5) 県教育委員会と市町村、私学等との連携強化
- 様々な困難を抱えている子どもとその 家族を支援する取組を強化し、教育の セーフティネットを確保する
- (1) いじめや不登校に対する相談体制の充実
- (2) 障害のある幼児児童生徒とその保護者に対する、 早期からの教育相談支援の充実
- (3) 家庭や生活に様々な困難を抱えている子どもたちへの対応
- (4) 保護が必要な児童対策の充実・強化

みんなで取り組む「教育立県ちば」プラン

